

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 令和5年3月 日

事業所名: 心の森

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・それぞれの生活リズムや特性に合わせた部屋の環境整備をおこなっています	はい:11名 どちらともいえない:5名 いいえ:0名 わからない:1名  (ご意見) ・少し狭いかなと感じています	・利用者の方々のそれぞれの特性に応じた環境を準備して、一人ひとりが安心して過ごせるスペースの確保を目指します
	2 職員の適切な配置	・配置基準職員に加え、月単位にて保育士の配置をプラス1名以上行っています (児童指導員等加配加算 I 算定)	はい:12名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:3名  (ご意見) 送迎なので配置数はわかりませんが、専門性は適切である	・職員の適切な配置の継続及び、援助の質の向上も向けて進めていきます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリー化(段差の排除、エレベーターの設置、リフト車輛による送迎体制等)を実施しています	はい:14名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:1名	・共有で使える座位保持椅子の設置やプライバシーに配慮したオムツ交換等のスペースの見直しを行います ・利用している子どもの状況により定期的に環境の見直しを行います
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置をしています ・活動に応じて机上活動、座っての活動、寝転べるスペースの確保等を行っています ・サーキュレーターにて室内換気を効率的におこなっています	はい:15名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:1名	・継続した感染症対策を行い、予防に努めます ・清潔で心地よく過ごせるように清掃・整理整頓にも努めます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・事業計画策定・実施・評価・見直しを職員参画により行っています		・特定職員のみでなく、チーム全体としてPDCAサイクルへ参画する機会を作ります
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部からの視察における評価の活用、法人内の他事業所における内部評価の活用により業務改善を行っています		・外部評価、内部評価、保護者・子どもの声を拾い、業務改善に努めます
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修への参加をしています ・外部講師を招いての法人内での研修実施をしています ・新任職員研修、非常勤職員研修、フィードバック研修、園内研修等の実施をしています ・研修計画を個別に作成し、計画的にOJT、OFF-JT、SDSを実施しています ・法人内での質の向上を目的とした委員会を設置して、事例検討を行っています		・職員の研修参加の促しを行います ・研修参加後や、法人内委員会開催後に、周知の場を設けると共に、質の向上に努めます
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・子ども、保護者の方との日頃のコミュニケーションを重視し、ニーズの把握に努めています	はい:17名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	・アセスメントを日々行い、課題分析を実施します
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どものその時々々の興味・関心を中心に計画を作成しています		・子どもの姿を明確に捉え、興味・関心や強みを活かした計画を作成します
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・子どもの姿、興味・関心、ニーズ、強みから支援内容の設定をしています	はい:16名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	・具体的な支援内容が、子どもと保護者の方々に共有できるように記載します

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの興味・関心、強みを活かした個別支援計画の策定と個別支援計画の支援者間での周知を行うことで、計画に沿った支援を実施できるようにしています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい:11名</li> <li>どちらともいえない:1名</li> <li>いいえ:0名</li> <li>わからない:5名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の内容を全職員で周知し、計画に沿った具体的な支援を共通して行えるようにします</li> </ul>
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の支援者の想いが先行する場面も見られるので、全体の想いの共有が必要だと感じている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ケース会議、職員会議の機会を増やし、子どもの姿の把握や興味・関心、強みを活かした活動プログラムの立案をチーム全体で行います</li> </ul>
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭との連携をとり、子どもの状況の把握に努めています</li> <li>課題や宿題等の習慣化ができるように支援しています</li> <li>長期休暇時には様々な体験ができるような活動プログラムの立案をしています</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平日には限られた時間の中で支援の優先順位を意識して活動に取り入れていきます</li> <li>長期休暇等には様々な体験ができるようなプログラムを計画する等、きめ細かに計画を立てて支援を実施していきます</li> </ul>
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>その時々の子どもの想いや興味のある活動を取り入れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい:12名</li> <li>どちらともいえない:1名</li> <li>いいえ:0名</li> <li>わからない:4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの今の想いや興味のあることを保護者の方とも共有して、プログラムや活動を行っていることを伝達していきます</li> </ul>
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間での申し送りを実施しています</li> <li>子どもの状況を把握しています</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間での申し送りの実施を継続します</li> <li>連絡帳システム、登園時の保護者の方からの伝達等にて子どもの状況をしっかりと把握、職員間で共有していきます</li> </ul>
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状況について申し送りをし、情報を共有しています</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状況、支援の振り返りを職員間で行い、記録として残し、以降の支援に活かせるようにしていきます</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・業務日誌、支援日誌の記録を作成しています ・支援方法の検証の場が少ないと感じています		・職員一人ひとりが記録・検討に携われる方法を検討しています。 ・職員それぞれの想いや支援を共有できる場の立案をしていきます
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとにモニタリング及び個別支援計画の見直しを実施しています		・日々の記録からモニタリングの実施、個別支援計画の見直しへと繋げていきます
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童発達支援管理責任者が主となり、サービス担当者会議へ参加しています		・サービス担当者会議への参画と、会議後に職員全体で共有、支援への反映ができる体制を確立していきます
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当なし		・今後必要に応じて実施していきます
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当なし		・今後必要に応じて実施していきます
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・令和4年度は該当ケースなし		・今後、連携先への周知も含めた対応を行っていきます
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・令和4年度は該当ケースなし		・今後、連携先への周知も含めた対応を行っていきます
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・連携が不十分であると感じています		・研修の情報を職員に提供していきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・本園の一番の強みである場面であったが、感染症対策として難しい対応もあった ・感染状況も踏まえての対応をおこなっていく	はい:11名 どちらともいえない:6名 いいえ:0名 わからない:0名	・感染状況も把握しながら、日常的な関わりが再開できるようにしていきます
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の清掃や施設外への散歩など、地域にでていく状況を作っています		・事業所として地域の環境を知ったり、職員が積極的に地域と繋がりを持つ機会を作ります ・地域の店舗へ買い物や地域の方への挨拶や日常的な関わりを計画的に行います
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・重要事項説明書を用いて説明を実施しています	はい:16名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	・契約時のみでなく、報酬改定時や支援内容に変更があった際などには文書を用いて説明を行います ・支援内容について、個別にお迎えの際に口頭で伝えたり、連絡帳に記載したり、ドキュメンテーションの作成をし、保護者の方にお伝えいたします
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・個別支援計画の目標の設定理由、内容の説明を実施しています	はい:15名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:0名	・分かりやすい言葉で個別支援計画書を作成をします ・個別支援計画を示しながら、目標の設定理由、具体的な内容を丁寧に説明する時間を個別に調整していきます
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・現在ペアレント・トレーニング等の支援が計画的に実施できていない状況です	はい:7名 どちらともいえない:2名 いいえ:2名 わからない:6名	・日頃の関わりの中で、お困りごと等へ助言を行います ・保護者の方のペアレント・トレーニング等のニーズの把握に努め、実施に向けて検討します ・保護者向けの研修等の案内を行います

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・利用時の様子を伝えたり、家庭での様子をお聞きしたりする中で、子どもの状況や課題について共通理解ができるよう努めています	はい:16名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	・今後さらに家庭との連携という面から、子どもの状況を把握して、適切な援助につなげていけるように共有していきます
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・悩みや相談などは受け付けられているが、どこまでの確な助言と対応ができていないと感じています	はい:10名 どちらともいえない:4名 いいえ:0名 わからない:2名	・職員もより専門性を高めて、子育てに寄り添える存在として知識を深め、保護者の方と共に育てる観点をもっていきます
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・感染症対策により実施できていない状況です	はい:3名 どちらともいえない:1名 いいえ:6名 わからない:7名	・併設園との共同での保護者参加事業の計画をしています
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情に対する対応体制、対応の手順等を明文化しています	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:4名	・苦情に対する対応体制、対応手順等を整えていることを改めて周知する機会を作ります ・苦情があった場合は、迅速に対応手順に沿って対応します ・保護者の方に同意を得て、全利用者に内容と対応について公表します
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等はこまめに伝達するようにしています	はい:14名 どちらともいえない:3名 いいえ:0名 わからない:0名	・個別に意思の疎通方法を検討します ・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等をもれなく保護者の方に伝達するようにします

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月のお便り配布、毎回の連絡事項配信等を行っています	はい:17名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	・毎月のお便り配布、施設内に活動写真掲示、連絡事項配信等により発信します
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に個人情報の取扱いについて文書での説明を行い、同意を得ています	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:3名	・個人情報の取扱い方針に沿って対応します
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時対応、防犯、感染症マニュアル等、各種対応マニュアルを策定していますが、保護者の方への周知は行えていない状況です	はい:14名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:2名	・各種マニュアルの定期的な見直しとマニュアルに沿った対応の徹底します ・改めて保護者の方への周知する機会を設けます
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・年間計画の立案、それに沿った訓練を毎月実施しています	はい:6名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:10名	・訓練実施と、災害時の対応についても保護者と共に周知していきます
	3	虐待を防止するための職員研修の機会確保等の適切な対応	・年1回以上全職員に向けて虐待防止、人権擁護の研修を行っています		・年1回以上全職員に向けて虐待防止、人権擁護の研修を行います ・日頃の業務内でも人権擁護を意識した対応ができているか職員間で確認します ・職員採用時に、虐待防止、人権擁護研修を行います
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・該当はないが、マニュアルの策定を行っています		・マニュアルの定期的な見直しの実施をします ・マニュアルに沿って適切な対応ができるようにします

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・該当する利用者はいないが、食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の指示書の提出を求め、それに基づいて食事提供を行っています		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の指示書に基づき食事提供をします</li> <li>・マニュアルに沿って安全に食事を提供できる環境を確保します</li> </ul>
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例及び検討、集計等を行い、事業所内で共有しています		<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的なヒヤリハット報告の実施をします</li> <li>・事例検討会議の実施、事業所内で共有する仕組み作りを検討します</li> </ul>